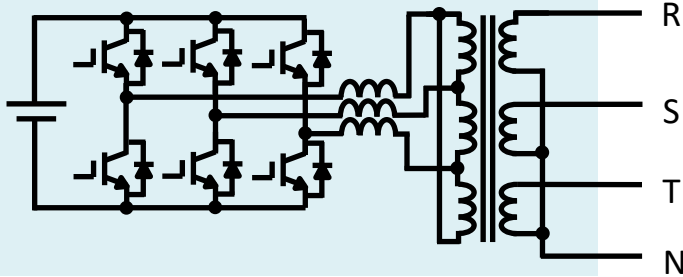


三相交流電源の回路方式 による違いと特長について




三相交流電源には2つの回路方式で構成されております。回路ブロック図ではDC/ACインバータとしか記載が無くその違いはカタログやWEBなどでは分かりません。一般的には三相電圧型インバータ方式と単相同期運転電圧型インバータ方式があり、それぞれの違いと特長をご案内します。

テストイメージ

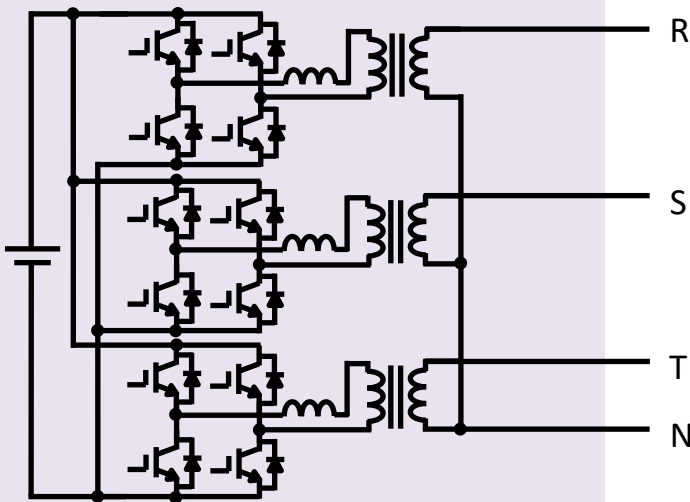
三相電圧型インバータ方式






三相電圧型インバータ特長

-  ・三相荷限定のみ
-  ・相アンバランス時に電圧波形の歪みや各相の電圧降下が大きい
-  ・部品点数が少ない為、低コスト

単相同期運転電圧型インバータ方式



単相同期運転電圧型インバータ特長

-  ・単相、三相負荷どれでも可
-  ・相アンバランス時でも電圧波形の歪みや各相の電圧降下が無い
-  ・部品多い為、コストアップ



三相交流電源
6300シリーズ

6300シリーズは単相同期運転電圧型インバータ方式で三相電圧型インバータ方式と同価格帯で購入可能！

特長

6300シリーズ

- ・力率改善回路(PFC)を削除したローコスト版を10kVA~150kVAをラインナップ
- ・AVR(自動電圧調整器)と同価格帯で通信制御可能なVVVF電源
- ・容量モデル別に一体型とすることで、小型・軽量を実現